

都市と水辺の調和：水環境の多面的機能の総合評価

水・水辺は酒や食品など食を支えるだけではなく、私たちや多様な生物の憩いの場であり、一方で私たちの生活を脅かす危険を秘めた存在でもあり、近年、その役割が高度化・多様化しています。そこで、私たちは都市の雨水管理システムの重要な構成要素である調整池に焦点を当て、調整池の多面的機能の総合評価手法の開発に取り組み、機能間の相互影響の理解に基づく水辺環境の創造および地域の多様な主体が意思決定に参加できる仕組みづくりに貢献することを目指します。モデルケースとして千葉県柏市柏の葉地区の3つの調整池（1号・2号・3号）を対象に研究を行います。そのうち、2号は「アクアテラス」と呼ばれ「柏の葉アーバンデザインセンター」を中心として行政と民間の連携によって、従来型の調整池を市民が憩える親水空間へと再生したものです。本研究は、これらの近接し、特徴の異なる調整池を対象に①調整池がもつ多面的機能・機能間の相互影響を定量化・可視化し、②科学的知見に基づいて価値をモデル化することで、水環境の総合評価を行います。本研究で得られる知見は、他地域の水辺にも応用可能であり、将来の人と生態系にとって豊かな水環境の創造に寄与できると考えています。



対象とする調整池(左:1号、中央:2号「アクアテラス」、右:3号)

